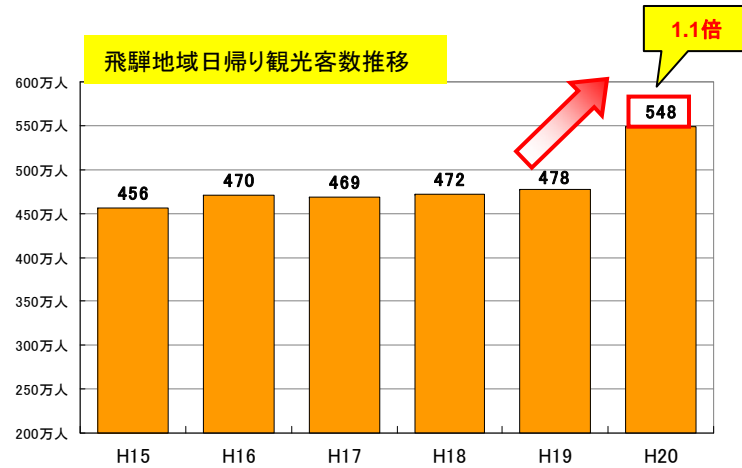
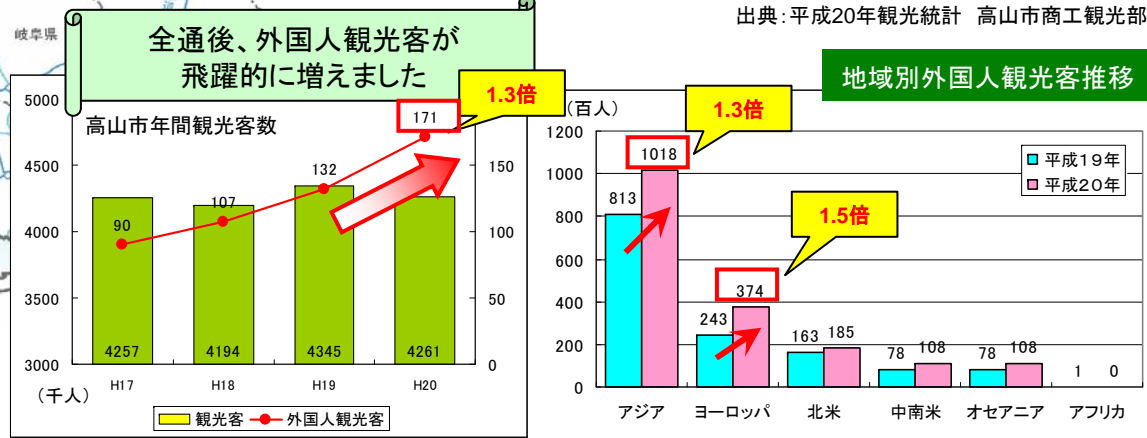


東海北陸自動車道(全線開通)によるアクセス向上で観光客が大幅に増加

- 全線開通を心待ちにされていた東海北陸自動車道が、平成20年7月5日開通しました
- 開通後、日帰りの観光客が増加、特に北陸から高山市へ多くの観光客が訪れています(北陸からの観光客は1.5倍に増加)
- 地域の努力もあり、外国人観光客の伸びは大きく過去最高の入り込み客数となり、中でもアジア・ヨーロッパからの観光客が伸びています



出典:平成20年岐阜県観光レクリエーション統計
出典:平成20年観光統計 高山市商工観光部



高山 外国人にモテモテ

5年で倍増の勢い 多言語で「おもてなし」

江戸時代の面影がある町並みが残る岐阜県高山市を訪れる外国人観光客が年々増えている。06年に年間10万人を突破、その後も順調に伸びており、市などは20万人増えを目標とする勢い。商店街と行政が一体となって進めた地道な取り組みが功を奏したことで、観光庁観光地域振興課は「京都ほどの知名度も北海道のような地理的特徴もないが、小さな努力を重ねた結果、成果を挙げている」と評価している。

現在、標高は5400mの高山への外国人観光客数は、前年比1.5倍の約3万7000人。観光用パンフレットは個人旅行客の増加が、06年10万人、07年13万人、08年17万人、09年19万人と増加している。また09年度には、飲食店などが外国語メニューを添えるスタッフが、20万回訪問する贈り物を創設した。

「これからは、観光客のニーズに合わせたおもてなしを、道を通りながら、何より大切な「おもてなし」を心がけていきたい」と話す。

市商工観光部は、今年1月、街頭で外国人観光客を取り囲み、日本語で観光案内を提供する「多言語おもてなし」を展開している。また、市商工観光部は、今年1月、街頭で外国人観光客を取り囲み、日本語で観光案内を提供する「多言語おもてなし」を展開している。

外国人観光客が増えている古い町並み一帯を歩くと、市商工観光部は、今年1月、街頭で外国人観光客を取り囲み、日本語で観光案内を提供する「多言語おもてなし」を展開している。

出典:毎日新聞 H22.5.10